

令和7年度 第4回

まちづくりミーティング

長田町、戸板、西、二塚、安原 校下（地区）

日時 令和7年8月30日(土) 14時00分から

場所 駅西福祉健康センター 3階 駅西健康ホール

本日は、お忙しい中をご参加いただき、誠にありがとうございます。
進行は次のとおりですので、よろしくお願ひいたします。

- 1 開会
- 2 市長あいさつ
- 3 地域代表あいさつ
- 4 進行の説明等
- 5 地域課題について
- 6 質疑応答、意見交換
- 7 市長まとめ
- 8 閉会

金沢市市民協働推進課

TEL 220-2026 FAX 260-1178

提出課題一覧

番号	地域課題	頁
1	無電柱化と災害時の避難所について (長田町校下町会連合会)	P. 2 P. 4
2	水害対策「犀川の整備」について (戸板校下町会連合会)	P. 5 P. 6
3	中央卸売市場再整備に伴う要望について (西校下町会連合会)	P. 7 P. 8
4	町会の活性化について (町会運営のデジタル化の推進) (二塚地区町会連合会)	P. 9 P. 10
5	消防分団員の減少対策について (安原地区町会連合会)	P. 11 P. 12

地域課題 1

町会連合会名	長田町校下町会連合会
地域課題	無電柱化と災害時の避難所について
現状と課題	<p>令和元年度（2019年度）までに、中橋高架下～中橋～広岡交差点の区間において、歩道の全区間で無電柱化が完了したところですが、金沢駅港口の玄関とも言える金石街道において、長田町小学校前横断陸橋～長田中央交差点の間は片側で無電柱化になっていない区間があります。</p> <p>また、昨年1月の能登半島地震地震の際には、長田町小学校に256人が避難し、金沢駅に近い避難所ということもあり、その内約3割が校区外の人で、金沢駅周辺にいた外国人や旅行者も含まれていた。</p> <p>森本・富樫断層帯で地震が起きた際には、金沢駅周辺でかなりの数の帰宅困難者がいると予想されるところですが、その際に長田町小学校での受け入れが困難であると思われる。</p>
地域が考える対応策・解決策／協議したい事項	<p>無電柱化については県道ではあるが、金沢方式の無電柱化で良好な景観の形成と安全で快適な歩行空間の形成のため、石川県と協議し、早期に実現していただきたい。</p> <p>金沢市として、令和9年（2027年）春頃、広岡3丁目に開業が予定されている音楽ライブホールと早々に災害協定を結んで頂き、金沢駅周辺の避難場所として金沢市指定避難所マップに載せて頂きたい。（地域との三者協定も見据え）</p>

市の方針等説明書（地域課題 1－1）

地域課題	無電柱化と災害時の避難所について
協議事項	無電柱化については県道ではあるが、無電柱化による良好な景観の形成と安全で快適な歩行空間の形成のため、石川県と協議し、早期に実現していただきたい。
市の方針等	
<p>ご指摘の件については、先般、石川県に問い合わせたところ、回答として、</p> <p>石川県では、県の無電柱化計画である「安全安心ないしかわの美しい街なみ景観形成計画」に基づき、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東山や寺町、石引地区などの「歴史的・文化地区」 ・鳴和三日市線（浅野本町～京町）などの「駅周辺・エントランス地区」 ・専光寺野田線（新神田～増泉）などの「都市部内の緊急輸送道路」 <p>などで無電柱化事業を進めている。</p> <p>県としては、金沢市が策定した「金沢方式無電柱化推進実施計画」における「重点区域」内の路線や、「都市部内の緊急輸送道路」のうち整備効果の高い路線から、鋭意、無電柱化を実施しているところであり、今後とも、美しい街並み景観の創出や、災害時における交通の確保に向け、金沢市や地元の方々と十分連携を図りながら、無電柱化を推進することとしている。</p> <p>要望区間については、約20年前に金沢駅西第三土地区画整理事業による道路拡幅に併せて290m区間の北側で無電柱化が完了しているが、南側の区間については、現在実施している無電柱化の進捗や、その他整備が必要な路線の状況を踏まえながら、必要性や緊急性について考えていきたい。</p> <p>と伺っています。</p> <p>本市としては、当該路線は災害対策基本法上の「(第2次) 緊急輸送道路」に位置付けられており、有事におけるスムーズな支援物資輸送の確保など、防災力向上が求められる重要な路線であることから、ご要望の点について改めて伝えていきます。</p>	
担当課	土木局 道路建設課 電話 220-2316

市の方針等説明書（地域課題 1－2）

地域課題	無電柱化と災害時の避難所について
協議事項	令和9年の春頃、広岡3丁目に音楽ライブホールの開業が予定されている。金沢市として、地域との三者協定も見据え、早々に災害協定を結び、駅周辺の避難場所として指定避難所マップに載せて欲しい。
市の方針等	<p>本市では、これまでにもホテル事業者と帰宅困難者の受入れに関する協定を締結してきましたが、能登半島地震での経験を踏まえ、改めて、金沢駅周辺での一時避難場所の確保に向けて、公共施設管理者や交通事業者はもとより、ホテル事業者や商業施設との協議を進めていくこととしています。その中で、ご提案の音楽ライブホール管理者とも相談していきたいと考えています。</p> <p>また、今年秋には、これらの関係する事業者と連携した帰宅困難者対策訓練の実施を予定しており、その結果も踏まえ、実効性の高いマニュアルを作成するなど、帰宅困難者対策を推進してまいります。</p> <p>なお、本年5月に県が公表した地震被害想定調査結果を踏まえ、専門家や地域の代表者等で構成する震災対策アドバイザーミーティングを先月設置し、地域の避難所の収容人数の精査など避難所のあり方や備蓄品の必要数量の精査など備蓄計画の見直しのほか、帰宅困難者対策などについても議論を始めており、来年5月を目途に第2次地域防災計画を改定していきます。</p>
担当課	危機管理課 電話 220-2366

地域課題 2

町会連合会名	戸板校下町会連合会
地域課題	水害対策「犀川の整備」について
現状と課題	<p>犀川の犀川橋（国道8号）からJR跨線橋間（大豆田本・若宮・出雲・桜田・示野中・示野町隣接）の中洲及び堤防の雑木繁茂及び土砂堆積が著しく、増水による越水や堤防の決壊が懸念され、早急に中洲そのものの撤去など整備が必要である。</p> <p>また、この区域の上流部では堆積土砂を撤去し、県と市が共同で堤防沿いでイベントをするなど、「川の整備は下から」の基本にそぐわないとの住民意見もある。</p> <p>犀川は二級河川のため県へ数年にわたり要請をしているが、わずかに工事が行われたものの住民の納得するような状況には至っていない。</p> <p>県営まめだ簡易グラウンドは、県が整備を決めているが、その他大部分は、その道筋も決まっていない状況で、整備とそれを維持する方策が必要となっている。</p>
地域が考える対応策・解決策／協議したい事項	<p>金沢市は、市民の生命・財産を守るという観点で、高い意識を持ち、もっと積極的に関わってほしい。</p> <p>今後も水害対策として、県に要望していくので後押しをお願いしたい。</p> <p>また、工事には直接関われずとも、例えば雑草対策として、市民が花壇・畑・公園として利用・管理するといった枠組みをつくる（草を刈ってもすぐ生えるので）など、整備後の維持を含め、市及び市民が関与できそうなことを県と協議してほしい。</p>

市の方針等説明書（地域課題 2）

地域課題	水害対策「犀川の整備」について
協議事項	今後も水害対策として県に要望していくので、金沢市も市民の生命・財産を守るという観点で、高い意識を持ち、積極的に関わって欲しい。
市の方針等	ご指摘の件については、先般、犀川の河川管理者である石川県に問い合わせたところ、河川断面を確保するための土砂の撤去や雑木伐採の重要性は十分に認識しており、パトロール等により河川の状況を把握したうえで、緊急性の高い箇所から順次実施し、昨年度は示野中橋上流側区間において、約450mの堆積土砂の撤去を行い、今年度についても引き続き実施する予定であり、今後の対応についても、予算の範囲内で継続的に取り組んでいく予定であると伺っています。
<p>犀川は中心市街地を流れ、多くの河川が合流し、水位の上昇が内水氾濫による市街地の浸水被害につながることから、治水上、特に重要な河川としてとらえており、流下能力の確保・向上を図ることが必要不可欠であり、今後も地域の皆様と連携しながら、石川県に対し継続的に働きかけてまいります。</p> <p>本市としましても、これまで市内全域の河川パトロール等で県河川に支障がある事案があれば担当部署に伝えているほか、総合治水の観点から木曳川の改修や戸板雨水ポンプ場、雨水管渠の整備などを実施し、水害に強いまちづくりの実現に向けたさまざまな治水対策に鋭意取り組んでいるところであります、今後もご理解とご協力をお願い申し上げます。</p>	
担当課	土木局 河川水防課 電話 220-2341

地域課題 3

町会連合会名	西校下町会連合会
地域課題	中央卸売市場再整備に伴う要望について
現状と課題	<p>マスメディアを通じて、中央卸売市場内の建物が老朽化により、改築する計画であるとかがっている。</p> <p>①西校下内には市場関係者の方が多数居住しており、計画への関心が非常に高い。</p> <p>②市場周辺の道路は通学路があり工事車両への対応に懸念している。</p> <p>③飲食店が一般市民も多数利用しているため、道路側に駐車している周辺道路が混雑している。</p> <p>④市場内に地域で利用できる共有スペースが無い。</p>
地域が考える対応策・解決策／協議したい事項	<p>①早期に再整備に関する計画について進捗状況を地元に提示してほしい。</p> <p>②整備中の工事車両の動線を明確化してほしい。</p> <p>③再整備において、飲食店用の駐車場を確保してほしい。</p> <p>④新規建物内に、地域が活用できる共有スペースを確保してほしい。</p>

市の方針等説明書（地域課題 3）

地域課題	中央卸売市場再整備に伴う要望について
協議事項	<p>①早期に再整備に関する計画について進捗状況を地元に提示してほしい。</p> <p>②整備中の工事車両の動線を明確化してほしい。</p> <p>③再整備において、飲食店用の駐車場を確保してほしい。</p> <p>④新規建物内に、地域が活用できる共有スペースを確保してほしい。</p>
市の方針等	<p>① 中央卸売市場の再整備につきましては、先般、湊3丁目地内の県有地を活用し、青果棟を県有地に移転整備するとともに、水産物棟を西念4丁目の現在地で再整備するとの方向性を固めたところです。</p> <p>この方向性を踏まえ、現在、基本設計の詳細検討を進めており、令和8年2月末までに、新市場施設の規模・配置や今後の整備スケジュール等を取りまとめることとしています。</p> <p>ご要望がありましたら、再整備の概要等についてご説明したいと思います。</p> <p>② 工事車両の動線につきましては、施工業者が決まり次第、業者と調整のうえ、地元説明会を開催してお示します。</p> <p>なお、再整備中は、周辺の交通安全の確保に十分留意するとともに、通勤・通学される方への影響が最小限となるよう、配慮いたします。</p> <p>③ 市場の東側道路の一部が駐車場として利用されている状況につきましては、市としても、交通の安全や市場関係者の業務活動の観点から解決すべき課題であると考えています。</p> <p>今後、設計を進める中で、飲食店利用者の駐車スペースの確保策についても検討していく予定です。</p> <p>④ 卸売市場内は、許可を受けた市場関係者以外の方は、原則、入場できない施設となっていますが、管理棟など売場以外の施設等での地域の活用について、他市場の事例等を踏まえた上で、研究課題としたいと思います。</p>
担当課	農林水産局 中央卸売市場事務局市場再整備室 電話 220-2711

地域課題 4

町会連合会名	二塚地区町会連合会
地域課題	町会の活性化について（町会運営のデジタル化の推進）
現状と課題	<p>町会運営にあたり、安心安全のまちづくりを図ることは欠かすこと が でき ず、そのためには、情報の共有をはじめ、防犯パトロール、防 災訓練の実施等は欠かせない。</p> <p>先の能登半島地震での反省点を踏まえた、地区住民の安否確認、現 状報告をいち早く行政に報告するシステム化が遅れている。</p>
地域が考える 対応策・解決策／協議したい事 項	<p>町会への新規加入者に対する、デジタル技術によるネットワーク化 の情報提供を図るとともに、災害が発生したときの安否確認のスピー ド化を図るには、「結ネット」の有効活用をするよう導くとともに、喫 緯の課題として、全町会長の加入を図るなど、金沢市の施策の拡充や 指導を徹底していただきたい。</p>

市の方針等説明書（地域課題 4）

地域課題	町会の活性化について（町会運営のデジタル化の推進）
協議事項	町会への新規加入者に対する、デジタル技術によるネットワーク化の情報提供を図るとともに、災害が発生したときの安否確認のスピード化を図るには、「結ネット」の有効活用をするよう導くとともに、喫緊の課題として、全町会長の加入を図るなど、金沢市の施策の拡充や指導を徹底していただきたい。
市の方針等	<p>町会への新規加入者に対するデジタル技術を活用した情報提供や、災害発生時の安否確認の迅速化は、重要な課題であり、本市としてもその必要性を強く認識しております。</p> <p>「結ネット」の有効活用は、まさにその課題解決に大きく貢献するツールであり、本市としても積極的に推進していきたいと考えております。</p> <p>具体的には、「結ネット」の利用促進として、導入に対しての補助に加え、活用事例を紹介するほか、新規加入者に対しては、「結ネット」の登録と利用方法を分かりやすく丁寧に説明し、利便性や必要性を理解していただくよう努め、より多くの町会が「結ネット」を活用できる環境整備を進めます。</p> <p>また、災害時における地域住民間の情報共有ツールとして、「結ネット」の認知度が高まったことから、今年度は、全町会長へ利用者を拡大するとともに、避難情報等を「結ネット」を含むSNS等に一斉配信するシステムの導入も予定しています。</p> <p>これらの取り組みを通じて、「結ネット」を町会活動の重要なツールとして定着させ、地域住民の安全・安心と地域の活性化に貢献し、より良いまちづくりを目指してまいります。</p>
担当課	<p>市民局 市民協働推進課 危機管理課</p> <p>電話 220-2026 電話 220-2366</p>

地域課題 5

町会連合会名	安原地区町会連合会
地域課題	消防分団員の減少対策について
現状と課題	<p>近年の自然災害により、地域住民は防災意識が高まっていますが、地域の消防分団を認知していない人が、まだまだ多くいるのが現状です。</p> <p>分団員は、有事の消防・防災活動だけでなく、地域イベントの手伝いや夜間の出勤依頼対応と多忙となっております。</p> <p>安原分団も高齢化してきており、若い人の入団希望も少なく定員割れの状態であり、この問題は安原地区だけではなく、市全体での問題であると考えている。</p>
地域が考える対応策・解決策／協議したい事項	<p>支給金についての検討など、団員の減少対策について関係部署と協議したい。</p> <p>安原地区では今まで以上の団員募集や安原分団の広報誌発行を分団と相談しながら、実施に向けて考えていこうと思います。</p>

市の方針等説明書（地域課題 5）

地域課題	消防分団員の減少対策について	
協議事項	支給金についての検討など、団員の減少対策について関係部署と協議したい。 安原地区では今まで以上の団員募集や安原分団の広報誌発行を分団と相談しながら、実施に向けて考えていこうと思います。	
市の方針等	<p>このことについては、災害の多発化・激甚化に伴い、消防団に求められる役割は多様化しているものの、全国的には入団者数の減少が進み、地域防災力の低下が危惧されることから、本市としても団員確保と活動環境の改善につなげるべく多角的に改善策を講じているところであります。</p> <p>とくに本市においては、40歳未満の団員数の減少が顕著であり、これはポンプ車操法等、様々な活動負担の増加によるものが主な要因と認識しています。消防団員の確保に向けては、ポンプ車操法大会のあり方を見直し、負担軽減を図るなど、全国の動向も注視しながら、金沢市消防団活性化推進研究会で検討していきます。</p> <p>報酬に関しては、令和4年度から、団員個人に支給している年額報酬、災害・警戒出動報酬の単価を増額、また消防分団を運営するための必要経費として支給している運営交付金についても、地域の実情に応じた弾力的な活動経費を確保するために増額支給しております。</p> <p>さらに、今年度からは、全団員が会員となっております「加賀とびはしご登り保存会」における活動に対する報酬を支給することとし、消防団員の更なる処遇改善を図っているところであります。</p> <p>若い世代へのPR施策としては、「二十歳のつどい」にてリーフレットを配布し、SNSを活用した広報及び、スマホにも対応できるよう刷新した消防団ホームページに誘導し、消防団を知ってもらい、興味をもってもらえるように広報活動を展開しています。</p> <p>今後も消防団の意見を聞きながら、効果的な団員確保策について検討していきます。</p>	
担当課	消防局 消防総務課 電話 280-1028	